

# 令和8年 文教警察委員会（閉会中委員会） 説明資料

## 重要審査テーマ「多様な学びの保障と社会的自立につながる教育の推進」

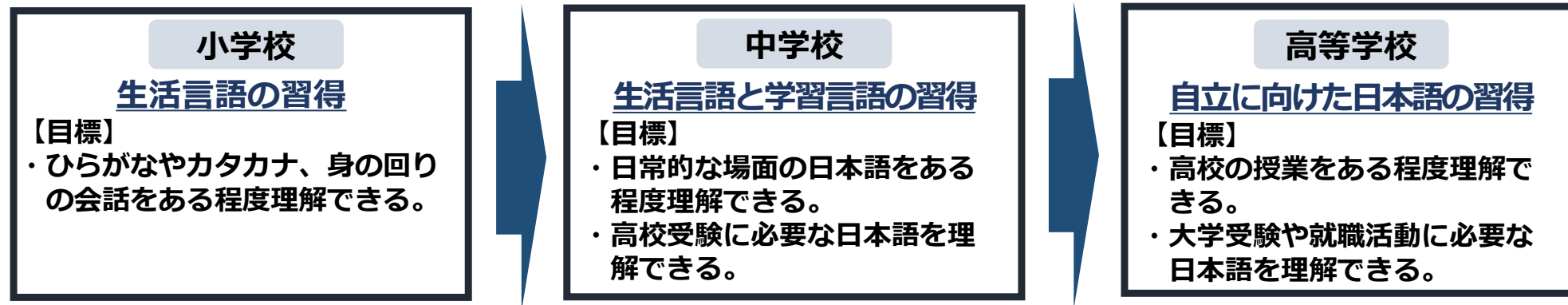
【審査項目（審査の視点）】

|   |                                    |   |
|---|------------------------------------|---|
| 1 | 外国人児童生徒への支援（日本人児童生徒と外国人児童生徒の共生の実現） | 1 |
| 2 | 不登校児童生徒への支援（フリースクールなど多様な学びの場の確保）   | 3 |
| 3 | 学びの質の確保及び学習保障（学力向上の取組、遠隔教育）        |   |
|   | 学力向上の取組                            | 4 |
|   | 遠隔教育                               | 6 |

令和8年8月19日  
教 育 庁

# 1 外国人児童生徒への支援（日本人児童生徒と外国人児童生徒の共生の実現）

## 小中高を貫く日本語支援の推進



## 1 対面による日本語支援（拡充）

### 小学校・中学校（20市町の98校に日本語支援員80人を配置）

- 「**取り出し指導**」と「**入り込み指導**」をバランスよく組み合わせ、個に応じた支援を行うことで、日常会話やひらがな、カタカナ、漢字の読み書きの力が向上
- 給食・掃除・外遊び等への日本語支援員の関わりが、人間関係の構築や欠席日数の減少に寄与

### 高等学校（重点校及び支援校計10校を中心に支援）

- 大学との連携により、日本語力の把握や指導方法の助言といった伴走支援体制を確保
- 日本語支援員の配置により、個に応じた支援が実現し、日本語力が向上

**取り出し指導**：外国人児童生徒だけを別の教室へ取り出して指導

【メリット】個の実態に応じた指導の充実

**入り込み指導**：日本人児童生徒と一緒に学ぶ教室に支援員が入って指導

【メリット】学級での学習と同じ進度で学ぶことが可能



取り出し指導の様子

## 2 オンラインによる日本語支援

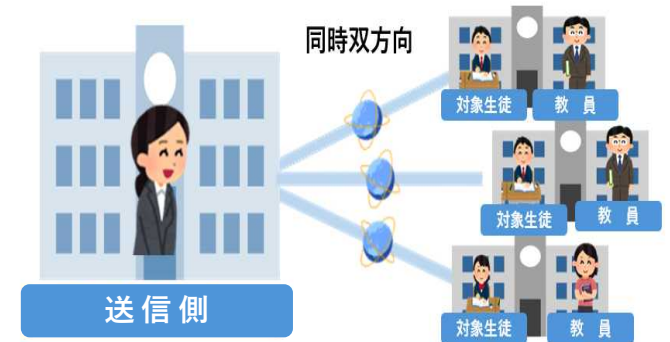
### 小学校・中学校 (筑波大学との連携)

日本語指導を担当する教員、日本語支援員がいない学校が対象

- 「1週間に2コマ×25週」を1クールとし、年間2クールで実施
  - 習熟度別にクラス編成し、丁寧に、ゆっくりと指導することで、児童生徒に寄り添った学習を実現

### 高等学校 (一般財団法人との連携)

- JLPT (日本語能力試験) 対策指導の実施
  - 放課後等の時間を有効活用し、日本語の定着を促進



## 3 多言語翻訳アプリケーションの活用 (新規)

日本語指導が必要な外国人児童生徒 (小5～高3) を対象に配備

- 母語が異なる児童生徒が同一教室で授業を受けている場合であっても、教師の指示や指導の内容をアプリケーションがリアルタイムで多言語翻訳することで、円滑な支援を実現



アプリケーションを活用して学習している児童の様子

### 【課題への対応】

- ・ 年度途中の児童生徒の編入 → 日本語支援員の複数校兼務、校内指導体制の変更で対応
- ・ 社会と理科の学習用語の翻訳 → 教員、日本語支援員がその都度説明

## 2 不登校児童生徒への支援（フリースクールなど多様な学びの場の確保）

### 1 現状・課題（小・中学校）

- 本県の不登校児童生徒数は、令和4年度から2年連続で減少  
※不登校児童生徒数が2年連続で減少したのは全国で本県のみ
- 引き続き、一人一人の状況に応じた多様な学びの場、居場所の確保と、学校と関係機関との連携強化が必要

＜不登校児童生徒数の推移＞ 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

| 区分 | R4       | R5       | R6       |
|----|----------|----------|----------|
| 本県 | 8,577人   | 7,987人   | 7,935人   |
| 全国 | 299,048人 | 346,482人 | 353,970人 |

#### 【学校内外の多様な学びの場（施設等）の推移】

R4 119施設等 → R7 371施設等 **約3倍**

| R4  | R5  | R6  | R7  |
|-----|-----|-----|-----|
| 119 | 132 | 309 | 371 |

#### 【学校内外の多様な学びの場利用者の推移】

R4 1,036人 → R7 4,118人 **約4倍**

| R4     | R5     | R6     | R7     |
|--------|--------|--------|--------|
| 1,036人 | 1,330人 | 3,076人 | 4,118人 |

※教育支援センター、校内フリースクール、民間フリースクールの施設等・利用者の合計

### 2 対応（小・中学校）

#### ○ 教育支援センター

**R7:56施設 982人利用**

- ・市町村教育委員会が設置
- ・児童生徒の状況に応じ、学校が提供する課題やオンライン授業、ICT教材等による個別学習を元教員等が支援

#### 県の取組

##### ○教育支援センター職員の資質向上

- ・不登校対策連絡協議会での参加関係機関との情報共有、研究協議等
- ・教育支援センターによる事例研究等の結果を全市町村へ共有

#### ○ 校内フリースクール

**R7:207校 2,751人利用**

- ・学習活動を自ら決め、オンライン授業、ICT教材等を活用し、学び直しや発展的な学習など、個に応じた学習支援を教職員等が支援

#### 県の取組

##### ○校内フリースクール設置促進事業（国補）

支援員の人件費を補助（36校へ補助）

##### ○不登校児童生徒支援教員を72校に配置

##### ○特色ある教育活動パイロット研究推進事業

校内フリースクールの研究（3校）

#### ○ 民間フリースクール

**R7:108（県内65）施設385人利用**

- ・各施設の活動方針や児童生徒の状況に応じ、個別学習、ICT教材、体験活動等を組み合わせた学習支援を実施
- ・学習状況等については学校と共有し連携

#### 県の取組

##### ○民間フリースクール連携推進事業（県単）

- ・要件を満たす施設の運営費を補助（13施設）
- ・経済的な事情のある世帯に対し、授業料等の一部を補助（32人）

##### ○民間フリースクールとの連携の強化

（不登校対策連絡協議会：年2回）

#### 今後の取組

#### 校内フリースクールの設置促進

#### 民間フリースクール等との連携強化

### 3 学びの質の確保及び学習保障（学力向上の取組）

小中学校における取組等について

探究的な学びの推進を通して、児童生徒の「自ら学ぶ力」の育成を目指します。



#### 探究的な学びを推進するための手立て

- 県内全ての小中学校で目指す学びの方向性を共有
- 10校の実証研究校（小中学校各5校）を設置
- 県と市町村教育委員会の指導主事が、**年間を通じて実証研究校を支援**
- 国の学力調査官等からの指導・助言
- 年2回の授業公開を通して、研究成果を全県へ普及

#### 令和8年度全国学力・学習状況調査 【児童生徒質問調査】

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

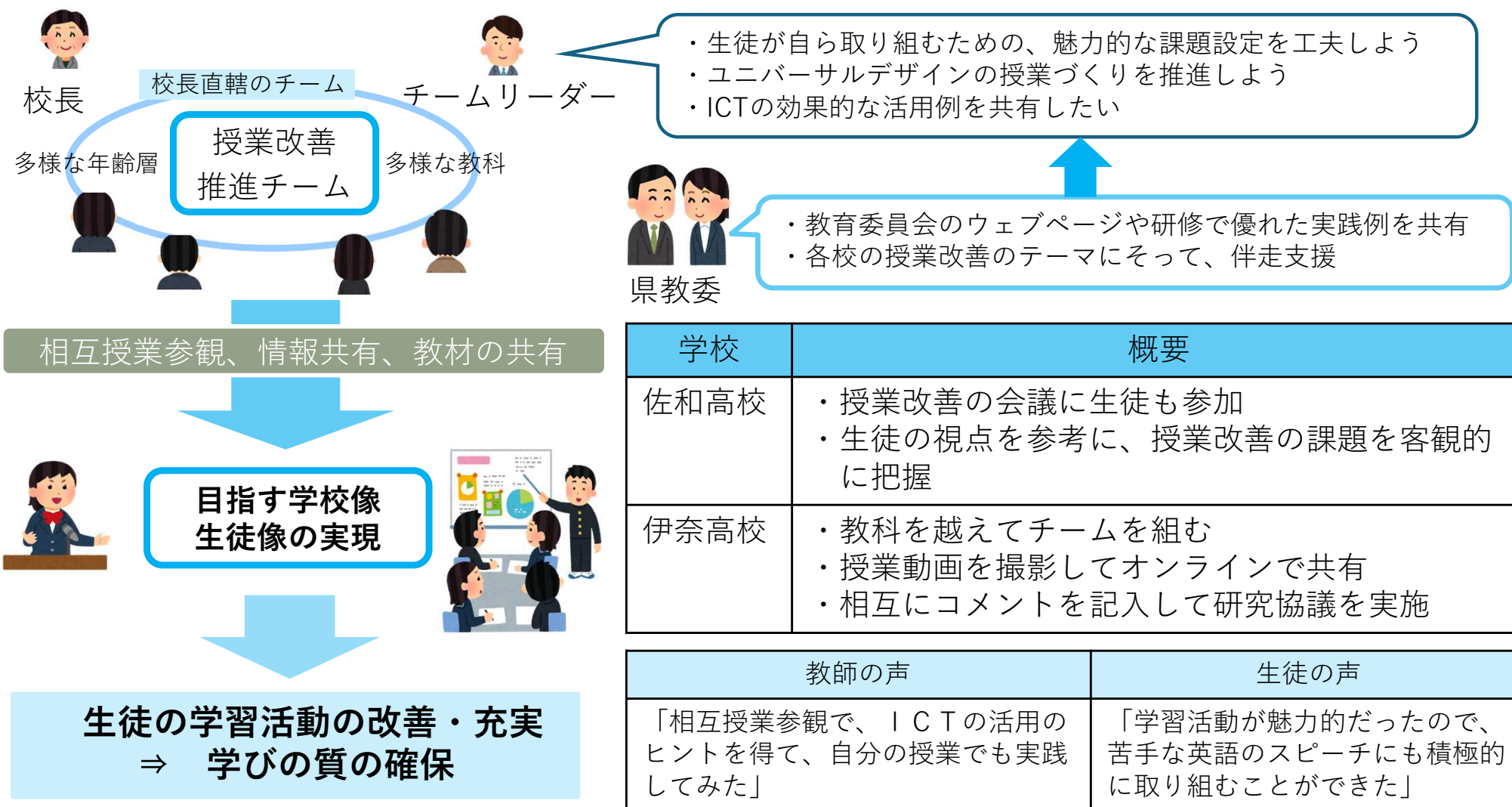
肯定的な回答をした児童生徒の割合

|       |     |       |            |
|-------|-----|-------|------------|
| 【小学校】 | 茨城県 | 80.8% | （全国 79.4%） |
| 【中学校】 | 茨城県 | 79.3% | （全国 78.2%） |

### 3 学びの質の確保及び学習保障（学力向上の取組）

#### 高等学校における取組について：授業改善推進プロジェクト

- 自校の教育目標を達成するための授業改善を組織的に実施（2023年より）
- 各校に授業改善推進チームを設置し、授業改善に向けて学校が自走することを目指します



### 3 学びの質の確保及び学習保障（遠隔教育）

#### 小中学校における取組等について

児童生徒に質の高い学びの機会を提供するとともに経験の浅い教員の授業を支援します。

#### 1 いばらきオンラインチャンネル

##### ○ 実施方法：教師支援型※

※ 配信側と受信側の教室をオンラインで結び、受信側の教員の授業を支援

##### ○ 配 信：ライブ配信…専門教員・ネイティブ教員が授業（双方向性）

見逃しに対応した動画（オンデマンド動画）も準備

##### ○ 対 象：県内全市町村立学校の小5～中3

##### ○ 教 科：算数・数学、理科、英語、技術

※ ライブ配信 49授業を実施し、120学級が参加（R8.7.22現在）

オンデマンド動画 視聴回数 1,995回（R8.7.22現在）



授業のライブ配信の様子

#### 〈児童生徒の声〉

- 初対面のALTと会話して緊張したが、自分の英語が伝わったときは、“通じる”と実感し、とても嬉しかった。
- JAXAの専門的な方からロケットの仕組みに関する話を聞けて、貴重な体験になった。

#### 〈教員の声〉

- 授業に児童の興味を引き付けて離さない仕掛けがあり、とてもよかった。今後は、他校との交流に期待。
- 若い先生にとって、参考になる優れた授業だと感じた。

#### 2 いばらきオンラインスタディplus

##### ○ 活用方法：授業や家庭での学習に活用

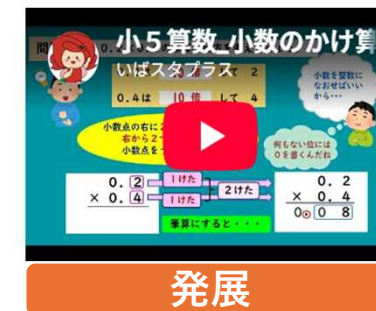
##### ○ 対 象：県内全市町村立学校の小4～中3

##### ○ 教 科：国語、社会、算数・数学、理科、英語

##### ○ 動 画 数：528本（習熟度別に作成）

※ 視聴回数 133,074回（R8.7.22現在）

いつでも  
どこでも、  
視聴可能



### 3 学びの質の確保及び学習保障（遠隔教育）

#### 高等学校における取組等について

##### ■ 小規模校遠隔授業

###### ➤ 「情報Ⅰ」受信校を5校に拡大



配信校の様子（水戸桜ノ牧常北校）

【生徒の声】 対面授業と変わらず、わかりやすい授業です。

###### ➤ 小規模校遠隔授業の受信校・配信科目を次年度以降さらに拡大する予定

【配信校】  
水戸桜ノ牧常北校 科目：「情報Ⅰ」

【受信校】  
2025年度 2校  
磯原郷英、茨城東



2026年度 5校  
磯原郷英、茨城東、  
太田西山、常陸大宮、  
波崎柳川

###### ➤ 鬼怒商業と結城第一の合同遠隔授業を開始 【学校連携型キャンパス制】



合同遠隔授業の様子（鬼怒商業）

2026年度  
鬼怒商業から結城第一に配信  
⇒ 「マーケティング」「簿記基礎」

2027年度  
・鬼怒商業から配信科目追加 ⇒ 商業2科目  
・結城第一から配信開始 ⇒ 「英語探究」

##### ■ オンライン学習会

###### ➤ 「ハイレベル数学オンライン学習会」の対象を全県立高等学校等に拡大



全12回実施

講師：

並木中等 指導教諭

オンライン学習会の様子（並木中等）

第1回 5/18（月）実施

・90名程度が参加  
（当日参加18人、動画視聴70人以上）

【参加者の声】

・いろいろな視点（解答方法）を得られてとても良い。  
・自分の時間で受講でき、大学受験対策になる。

###### ➤ 専門高校から資格取得講座等の配信

・日立工の実習助手（ものづくりマイスター）が、日立工・勝田工・海洋の生徒向けに電気資格取得講座を実施

###### ➤ 情報科も9月実施に向けて準備中

・全10回程度  
・大学入試共通テストに対応した問題演習